

コメント要旨 2

2023/07/28 (金) 13:00~17:15 (オンライン開催)

研究会「インターセクショナリティとジェンダー視点の主流化ーバングラデシュ地域研究から」

ディスカッサント 2：倉光ミナ子 (お茶の水女子大学)

サモアを中心としたポリネシア社会をフィールドとし、人文地理学、国際開発学、ジェンダー論を専門とする倉光ミナ子は、自らの専門分野とフィールド調査での経験を踏まえて、本ワークショップの各報告に対して、コメントを行った。特に、ワークショップの全体のテーマに関わる「インターセクショナリティ」(交差性)概念の理論的な可能性について、既存のジェンダー論や開発学の観点から、先行研究を踏まえてコメントを行った。さらに、池田報告で取り上げられたその理論的な視角への問題提起と、その後の各報告で取り上げられ議論された、それぞれの事例に即したその分析視角の可能性について検証した。最終的に、南アジア研究におけるその理論的な貢献の可能性について、人文地理学やポリネシア地域研究での議論を紹介しながら、コメントを行った。